

## 講演者プロフィール

金井 嘉宏 (東北学院大学准教授)

---

### 《略歴》

2003年 早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了  
2005年 日本学術振興会特別研究員 (DC2)  
2006年 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士後期課程修了 博士 (臨床心理学)  
2006年～2011年 広島大学大学院総合科学研究科助手を経て助教  
2011年より東北学院大学教養学部講師を経て准教授

### 《専門分野》

不安障害に対する認知行動療法の治療効果を高めるために、認知心理学, 生理心理学, 認知神経科学的手法を用いて研究を行っています。

### 《主な論文・著書など》

金井嘉宏 (2008). 社会不安障害患者の生理的反応に対する認知の歪みに関する研究 風間書房  
Kanai, Y., Nittono, H., Kubo, K., Sasaki-Aoki, S., & Iwanaga, M. (2012). Early somatosensory event-related potentials reveal attentional bias for internal stimuli in social anxiety. *Biological Psychology*, 89, 591-597.  
Kanai, Y., Sasagawa, S., Chen, J., Shimada, H., & Sakano, Y. (2010). Interpretation bias for ambiguous social behavior among individuals with high and low levels of social anxiety. *Cognitive Therapy and Research*, 34, 229-240.

国里 愛彦 (早稲田大学助手)

---

### 《略歴》

2006年 群馬大学教育学部教育心理学専攻卒業  
2008年 広島大学大学院教育学研究科心理学専攻 (心理臨床学コース) 修了  
2009年 日本学術振興会特別研究員(DC1)  
2011年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻修了 博士 (医学)  
2011年より早稲田大学人間科学学術院助手

### 《専門分野》

気分障害の認知神経科学・計算論的臨床心理学研究, 認知行動療法の効果と作用メカニズムの研究

### 《主な論文・著書など》

松永美希・吉村晋平・国里愛彦・鈴木伸一 (2011). うつ病の集団認知行動療法実践マニュアル: 再発予防や復職支援に向けて 日本評論社  
Kunisato, Y., Okamoto, Y., Ueda, K., Onoda, K., Okada, G., Yoshimura, S., Suzuki, S., Samejima, K., Yamawaki, S. (2012). Effects of depression on reward based decision making and variability of action in probabilistic learning. *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry*, 43, 1088-1094.

〈176〉不安, うつ, 妄想に挑む心理学: 臨床と基礎の融合を目指して

Okada, G., Okamoto, Y., Kunisato, Y., Aoyama, S., Nishiyama, Y., Yoshimura, S., Onoda, K., Toki, S., Yamashita, H., & Yamawaki, S. (2011). The effect of negative and positive emotionality on associative memory: An fMRI study. *PLoS ONE*, 6(9), e24862.

浅井 智久 (千葉大学／日本学術振興会特別研究員SPD)

---

#### 《略歴》

2003年 東京大学文学部心理学専攻卒業  
視覚と聴覚の相互作用に関する心理物理学研究に従事  
2010年 東京大学総合文化研究科修了 博士(学術)取得  
自他の表象とその精神病理学的個人差に関する研究に従事  
現在 千葉大学文学部・日本学術振興会特別研究員 (SPD)  
社会脳機能の予測的メカニズムに関する研究に従事

#### 《専門分野》

主に実験心理学の方法論を用いて、「自己と他者」という表象がどのように脳内で表現されているのかを研究しています。また、そのためのアプローチの1つとして、精神病理学的な個人差の検討も行ってきました。

#### 《主な論文・著書など》

浅井智久・今水寛 (2011) . 統合失調症と内部モデル. *臨床精神医学*, 40, 435-449.  
Asai, T., Sugimori, E., & Tanno, Y. (2011). A psychometric approach to the relationship between hand-foot preference and auditory hallucinations in the general population: Atypical cerebral lateralization may cause an abnormal sense of agency. *Psychiatry Research*, 189, 220-227.  
Asai, T., Mao, Z., Sugimori, E., & Tanno, Y. (2011). Rubber hand illusion, empathy, and schizotypal experiences in terms of self-other representations. *Consciousness and Cognition*, 20, 1744-1750.